

# 東近江市のまちづくり協議会

## 令和6年度 各地区の取組



共に



考え



共に



創る



# まちづくり協議会のあゆみ

## ◇東近江市の誕生

平成17年2月11日に1市4町(八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町)が合併。  
その後、平成18年1月1日に蒲生町・能登川町と合併し、現在の形になりました。



## ◇まちづくり協議会の誕生

合併することにより、行政サービスの低下、各地区の個性や伝統文化が失われることが懸念されました。

そこで、市民が自主的に参加して、それぞれの地域課題を解決し、各地域の個性を活かしたまちづくりを行うため、東近江市の14地区すべてで「まちづくり協議会」が組織されました。

平成26年4月に「協働のまちづくり条例」が施行され、その中で、まちづくり協議会の位置づけ等も定められました。

まちづくり協議会は、まちづくりに包括的に取り組む団体として、また、行政の重要な協働のパートナーとして、ますます活躍が期待されています。

現在、14地区全てのまちづくり協議会が、各地区にあるコミュニティセンターを拠点として活動しています。



## ◇まちづくり協議会の設立日及びコミュニティセンター指定管理開始日

協議会名	協議会設立日	コミュニティセンター 指定管理開始日
平田地区まちづくり協議会	平成17年 12月23日	平成23年 1月1日
市辺地区まちづくり協議会	平成19年 2月25日	平成23年 10月1日
玉緒地区まちづくり協議会	平成18年 12月10日	平成24年 1月1日
御園地区まちづくり協議会	平成18年 10月21日	平成24年 10月1日
建部地区まちづくり協議会	平成18年 2月25日	平成23年 10月1日
中野地区まちづくり協議会	平成18年 12月9日	平成24年 4月1日
八日市地区まちづくり協議会	平成18年 12月2日	平成24年 4月1日
南部地区まちづくり協議会	平成17年 9月19日	平成23年 4月1日
永源寺地区まちづくり協議会	平成17年 9月30日	平成26年 4月1日
五個荘地区まちづくり協議会	平成18年 3月18日	平成25年 4月1日
愛東地区まちづくり協議会	平成17年 5月21日	平成24年 10月1日
湖東地区まちづくり協議会	平成17年 7月14日	平成24年 4月1日
(一社)能登川地区まちづくり協議会	平成19年 3月10日	平成24年 4月1日
蒲生地区まちづくり協議会	平成18年 11月18日	平成25年 4月1日

※ (一社)能登川地区まちづくり協議会は、平成25年4月1日に法人化されました。

## ◇東近江市協働のまちづくり条例（抜粋）

(まちづくり協議会)

第18条 まちづくり協議会とは、地区の課題解決と個性を生かしたまちづくりに取り組むため、多様な主体が参加して自主的に設置する地域自治組織をいう。

2 市は、次の各号の要件を満たすまちづくり協議会を、一地区について一団体を認定するものとする。

- (1) 地区自治会連合会等の多様な主体が参画し、地区のまちづくりに包括的に取り組んでいること。
- (2) 地区のすべての市民を対象としていること。
- (3) 民主的な運営を行うため、規約を定めていること。
- (4) 地区のまちづくりの基本方針等を定めた「地区まちづくり計画」を策定していること。

(5) 運営に当たる役員や代表者は、民主的に選出されたものであること。

(6) 運営の透明性が確保されていること。

3 市は、まちづくり協議会の認定後、前項に規定する要件を満たしていないと認めた場合は、改善を求めなければならない。

4 市は、まちづくり協議会の活動を尊重し、技術的及び財政的援助等の必要な支援を行うものとする。

5 市民は、まちづくり協議会の活動に積極的に参加し、相互の交流を深めながら協働するものとする。

6 まちづくり協議会は、地区の課題を解決するため、市及びその他の組織と協働してまちづくりを推進するものとする。

7 まちづくり協議会は、各地区コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、市と協働して運営するものとする。

## ● 平田地区まちづくり協議会

(愛称) ひらた夢回議

(テーマ、スローガン) 平田地区で、誰もが住み続けたい、住んでみたくなるまちづくり

【令和6年度】

設立日	平成17年12月23日	認定日(当初)	平成18年1月16日
コミセン 指定管理開始日	平成23年1月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市下羽田84-5 平田コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-22-1950 〈IP番号〉 050-8034-1950 〈FAX〉 0748-22-1950 〈e-mail〉 hirata-co@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://hirata-yumekaigi.com		
代表者	会長 増田 伊知郎	会員数	地区住民
会議・組織	本会役員 会長、副会長3名、会計、事務局長、会計監事2名 評議委員会 自治会長12名 企画運営委員会 本会役員(会計監事を除く)、特別部会長、専門部会長 地域担当職員		
予算等の概要	〈一般会計〉 まちづくり総合交付金：1,374千円/その他：824千円 〈指定管理会計〉 コミセン指定管理料：16,434千円/その他：1,566千円 雪野山歴史公園等指定管理料：4,680千円/その他：47千円 平田体育館等指定管理料：7,968千円/その他：3千円 〈業務委託〉 地域子育て支援拠点事業運営委託料：6,944千円		
情報紙の発行	平田のみんなの情報誌「ひらたから」(A4版) 毎月発行 発行部数 1,000部/月 主な内容 活動報告、行事案内、お知らせ 等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>■和邇学区と平田地区合同研修会 11月24日(日)平田コミュニティセンターにおいて、「まちづくり協議会の事例を通して地域運営を考える」をテーマに、大津市和邇学区と合同研修会を開催した。</p> <p>■雪野山の里山資源を活用した新たな人と地域の交流事業 県内外から雪野山ヘクライミング等で訪れる人に、里山の魅力を理解してもらいながら、一緒に森林整備等を行い、地域外の人と地元地域と交流を行った。 (東近江の森と人をつなぐ「あかね基金」を活用)</p>		
			
			

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【若者定住】

- ・第17回水鉄砲合戦「世は戦国！雪野山夏の陣」の開催（8月4日）
- ・ひらたクリスマスパンまつりの開催（12月15日）



【子ども・子育て応援】

- ・つどいの広場「すずかけっこ」の運営  
絵本の読み聞かせ（月1回）  
子育て相談（月1回）、等
- ・「げんきっこ・ひらた」の活動  
夏祭り、映画会、クリスマス会、  
餅つき大会、スケート教室、等



【高齢者福祉】

- ・第7回ひらた健康教室の開催
- ・命のバトン普及事業
- ・誰でも立ち寄れる居場所づくり
- ・困りごとを支援するしくみづくり

【田園環境】

- ・第7回「平田の田園環境」写真コンテスト（2月16日表彰式）
- ・地域散策ガイド事業  
里山保全団体と連携協力し、散策路の維持管理を行った。
- ・雪野山の里山資源を活用した新たな人と地域の交流事業



【地域活性化】

- ・蒲生野トレイル活用事業  
11月9日（土）はじめての雪野山・瓶割山トレイルラン教室を開催した。



【公園管理運営】

- ・雪野山歴史公園（散策路含む）・華岳山公園の管理運営を行った。

【平田体育館・平田グラウンド管理運営】

- ・平田コミセンと一体的に、平田体育館、平田グラウンドの管理運営を行った。

● 市辺地区まちづくり協議会

(愛称) 万葉のまち 市辺 (テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住みつけたい

【令和6年度】

設立日	平成 19 年 2 月 25 日	認定日 (当初)	平成 19 年 3 月 1 日
コミセン 指定管理開始日	平成 23 年 10 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 27 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市市辺町2391 (市辺コミュニティセンター内) 〈IP電話/fax〉 050-5802-3392 〈e-mail〉 ichi-kyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://ichinobe.sakura.ne.jp/wp/		
代表者	会長 谷 正和	会員数	93名
会議・組織	役員会 7名 (会長・副会長3名・事務局長・コミセン業務主任者・会計) 運営委員会 29名 (役員・全自治会長・各種団体代表・各専門部部長) 専門部会 6部会 まちづくり委員 64名 市福みらい会議 座長 (まち協副会長)		
予算等の概要	〈一般会計〉 まちづくり総合交付金：1,439千円 〈特別会計〉 コミセン指定管理料：15,498千円/その他：1,712千円		
情報紙の発行	まち協広報誌 「万葉のまち市辺」年4回発行、全戸配布 〈主な内容〉 各部活動紹介及びトピックス ・わが家の『ペット』紹介など コミセン広報誌 「市辺だより」毎月発行 ※両誌共に音声テキスト版発行 〈主な内容〉 事業開催の案内・各種活動の紹介などとイベントは号外を発行		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで PR できること	○組織運営 ・令和6年度の事業計画に基づき、役員会、運営委員会を開催。また自治会連合会等各種団体とも連携し、大きなイベントは実行委員会を組織して進めている。 ○減災活動 ・自治連、自主防災組織、民生委員、地区社協の参加により「減災連絡会議」を3回開催。『避難所開設訓練』を机上で開催。より具体的な取り組みをすすめる。 ○地域福祉活動 ・「市辺の福祉を考える“市福みらい会議”」を定期的で開催し、つながりアンケートの実施や市福みらい会議広縁会「日頃からできる見守り・支え合い」を開催。 ○蒲生野・万葉の歴史的文化的価値を広く伝える活動 ・『蒲生野・万葉ロマンの会』に積極的に参画し、万葉や蒲生野にかかわる素晴らしい歴史文化をはじめ万葉ゆかりの地として広く発信していく取り組みを進めている。この会は、毎年講演会を開催しており、今年度は6月22日に「万葉ロマンと布引焼」と題して窯元をお招きして講演会を開催した。 ○まちづくり活動 ・歴史文化部 歴史発見塾開講 (7/28、1/19)。布施山整備。中山道を歩く (10/6)。 「市辺地域鳥瞰図」原画製作委託、「初めての短歌」勉強会開催 (1/29)。 ・自然環境部 まちづくり農園で園児を招き、さつまいもの収穫体験開催、ゴーヤ苗を配布 (グリーンカーテンで遮光と遮熱、地球温暖化対策啓発)。コンポスト事業の啓発と展示 (わくわくこらぼ村、ふれあいフェスタ) ・健康福祉部 グランドゴルフ「第3回まち協会長杯」11/13開催70名参加。健康講演会 11/21開催「健康は腸から」50名参加。 ・減災安全安心部 防災減災啓発放送 (毎月1日)。減災かるた出前授業 (布小、八日市西小)。わくわくこらぼ村にてワークショップ (2/22)。AED講習会開催 (2/16)。 ・地域活力部 船岡山公園除草作業。蒲生野・万葉フェスタのステージ設営など (3/30)。 ・こども健全育成部 ふれあいフェスタで「射的」ゲーム開催。万葉フェスタ会場で幼児・小学生を対象にふくろうなど小動物とのふれあいや鷹匠体験を開催 (3/30)		

## まちづくり活動等の取り組み紹介

### 減災連絡会議

「避難所開設机上訓練」 「減災連絡会活動計画」



### 自然環境部

まちづくり農園園児「いも掘り」体験



### 歴史文化部

市辺歴史発見塾

歴史発見塾

「幕末史の真実と井伊直弼」

「市辺の古墳と押磐皇子の伝説」



中山道を歩く 20名

### 減災・安全安心部

「減災カルタ大会」 わくわくこらぼ村会場

ふれあいフェスタ会

「布引小・八日市西小」

減災カルタ出前授業



### 地域活力部

蒲生野万葉フェスタの開催

### 健康福祉部

GG大会「まち協会長杯」 「健康・福祉講演会」



### 子ども健全育成部

「射的」ふれあいフェスタ会場



「健康教室」ふれあいフェスタ

## ● 玉緒地区まちづくり協議会

(愛称) ハートフル玉緒

(テーマ、スローガン) 『自然と共生し、みんなで創る輝く玉緒』



【令和6年度】

設立日	平成18年12月10日	認定日 (当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成24年 1月 1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市大森町1030番地 玉緒コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-22-6479 〈IP 電話〉 050-8034-6479 〈FAX〉 0748-22-6479 〈e-mail〉 tamao-k@e-omi.ne.jp		
代表者	川越 慶次郎	会員数	50名
会議・組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会 会長、副会長5名(1名は当該年度自治会連合会会長) 事務局長(コミセン館長兼務)、会計、会計監事2名</li> <li>・ハートフル玉緒自主防犯隊(120名)</li> <li>・運営委員会 役員、専門部代表者等18名</li> <li>・専門部会 広報部、環境整備部、歴史文化部、健康スポーツ部 福祉部、子ども健全育成部、企画部</li> </ul>		
予算等の概要	〈一般会計〉まちづくり総合交付金：1,583千円 〈特別会計〉コミセン指定管理料：15,296千円／その他：970千円		
情報紙の発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの情報誌「ハートフル玉緒」カラー版 年3回発行 その他の月は2色刷りを発行。部数 1,500部</li> <li>・まちづくり協議会活動報告 地域の文化、教育、歴史等を紹介</li> </ul>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<まちづくり協議会活動> ① コミセンの指定管理に伴う、運営管理を行う。 ② 協議会が、自治連・各種団体と共に3大事業(夏まつり・スポーツフェスティバル・文化祭)の企画から運営を行っている。 ③ ハートフル玉緒自主防犯隊による地域パトロールの実施。(毎週 火、木) 自治連・各種団体が地域全体事業として、防犯・防災・安心の為に青パトカーによる巡回を実施。  <部会活動> ① 広報部 地域の情報発信「ハートフル玉緒」発行、LINEでの情報発信 ② 環境整備部 里山整備、桜並木の整備、里山体験授業・里山保育の支援 ③ 歴史文化部 遺跡・伝統文化の保存継承 ④ 福祉部 年間10回 手作り給食作り ⑤ 子ども健全育成部 子ども体験事業 ⑥ 全体事業 桜まつり、夜桜ライトアップ、婚活支援活動、ハートフルコンサート		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動の取り組み紹介



桜まつり (3月)



総会 (5月)



寄せ植え教室 (6月)



子ども体験事業 (5,7,9,12,2月)



三者懇談会 (7月)



生き生きせけ (6,7,9,10,12月)



夏まつり (8月)



ぬのびき学級 (6,7,9,10,11月)



スポーツフェスティバル(10月)



史跡ウォーキング (10月)



桜並木整備 (9,10月)



里山体験授業 (11月)



文化祭 (11月)



ハートフルコンサート (12月)



青パト巡回 (週2日)

● 御園地区まちづくり協議会

【令和6年度】

設立日	平成18年10月21日	認定日（当初）	平成18年10月30日
コミセン 指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日 （条例による認定）	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<所在地>東近江市 五智町351-2 御園コミュニティセンター内 <電話番号・FAX> 0748-22-0503 <IP電話> 050-8034-0503 <E-mail> misono-c@e-omi.ne.jp（御園コミュニティセンター内）		
代表者	小梶 善治	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 6人（会長、副会長、事務局長 会計、会計監事2名） 運営委員会 17人（役員、自治会正副会長、企画委員） 企画委員会 11人（会長、副会長、事務局長、企画委員） まちづくり会議（自治連役員、各種まちづくりの活動組織、市関係者など） 会議：総会1回、運営委員会4回、企画委員会8回、まちづくり会議1回 活動：防犯パトロール事業、子ども体験事業、学校支援事業、 健康寿命推進事業、ふれあい事業など		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金：2,010千円／その他：14千円 <特別会計> コミセン指定管理料：15,800千円／その他：727千円		
情報紙の発行	・広報誌【まち協みその】A4版4～8ページ 毎月発行 発行部数2,200部／回 まち協、自治連、コミュニティセンター、各種団体の情報紙として発行。 ・主な内容：まち協、自治連、各種団体、ボランティアグループ、コミュニティセンターなどの活動紹介や講座PR、まちの話題など。		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	・ <b>まちづくり活動</b> ：2030年までのまちづくり計画を作成。御園地区で大切にしたい事を次の五つの基本方針として取り組んでいます。 1) 健康：健康で楽しいまちづくり 2) 子ども：子供を軸に共に学び育つまちづくり 3) 高齢者：生き生きと暮らせるまちづくり 4) 防犯・防災：安心して暮らせるまちづくり 5) 交流：交流でにぎわいあふれるまちづくり また、やりたいこと、できることで活躍できる地域となるよう関係者間のネットワーク構築を進めており、昨年より地域のふれあいを促進するため新しいイベントとして健康フェスティバル、秋まつりを行っています。運営を以前の自治会中心からボランティア中心に変え、多くの団体個人に参加いただきそれぞれが協同、連携してイベント盛り上げて頂きました。 また次々に生まれる小さな思いやアイデアを育てるため、コミュニティセンターを中心に活動支援をしており、今年度は子どもの居場所づくりとして「おにぎり食堂」を開催するグループが出来、毎回50人の小学生が集っています。 ・ <b>組織運営</b> ：御園地区まちづくり会議を開催、地域で活動するすべての団体が集まり、活動の共有や意見交換をする全体会議として、テーマごとに役割分担や協働について意見交換を行うことで良いコラボレーションが生まれています。 ・ <b>指定管理</b> まちづくり協議会と自治会連合会の事務局をコミュニティセンターが担う事でコミュニティセンターをまちづくりの拠点とした活動が出来ています。		

# 指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

## 令和6年度活動紹介

### 1 御園地区まちづくりの推進

御園地区まちづくり会議の開催



令和7年3月2日  
(日) まちづくりを加速化するために、地区内でまちづくりの取組を行う団体が一堂に集まり、御園地区の自慢や魅力、御園地区が持つ可能性について意見交換会を開催

### 2 自治連との連携

自治会連合会の研修会を開催



令和7年2月7日(金) 自治会の自慢や魅力、可能性についての研修会を開催



令和7年3月9日  
(日) 安心して暮らせるまちづくりのため、今後防災で地区や自治会で取組むと良いと思う活動についての合同研修会を開催

### 3 広報誌活動の向上



広報誌「みその」を発行。自治連、まち協、各種団体、コミセンの事業を紹介

### 4 健康寿命を延ばす活動 (健康専門家会議)



- ・11月16日(土) 生活習慣を見直す機会として「第1回生活習慣改善講座」を開催
- ・2月19日(木) 生活習慣を見直す機会として「第2回生活習慣改善講座」を開催
- ・健康なからだづくりの連続講座を月一回継続して開催

### 5 高齢者を支える活動



4月24日(水) 五箇荘地区をめぐる健康ウォークと歩き方教室を開催

### 6 子ども体験・交流事業



- ・6月16日(日) 「かきみそのCIAOの電車でお出かけパート7」を実施
- ・9月16日(土) 「かきみそのCIAOのこども防災体験」を実施



3月28日(木)・7月29日(月)・1月6日(月) 外国にルーツをもつ子どもたちへの日本語を学ぶ学習支援として、「マナビーみその」を開催

### 7 子どもを支える活動の推進



9月18日(金) 「みそのおにぎり食堂」をOPEN、子どもや高齢者の居場所として毎月第3金曜日に開催



6月28日(金) じゃがいも掘り・10月24日(木) さつまいも掘りを御園小学校の児童と花とみどり・コミセン共催で実施

### 8 防犯ボランティアパトロール隊

- ・6月19日(水)、6月22日(土) パトロール実施者証更新(3年ごと)のための講習会を実施
- ・毎週火曜日・木曜日に御園地域防犯ボランティアパトロール隊による地域のパトロールを実施



### 9 仲間づくり



5月10日(金) ちびっこサークル・歩こうちいきんぐ・コミセン共催で五智町内のお散歩を実施

7月25日(木) 三重県へ館外研修、2月1日には節分に向けて巻き寿司とキンパ作りを実施

### 10 地域ふれあい事業



みその健康フェスティバル  
10月13日(日) 開催



御園地区秋まつり  
11月10日(日) 開催



## ● 建部地区まちづくり協議会

(スローガン)『支え合い、助け合いの郷づくり』

【令和6年度】

設立日	平成18年2月25日	認定日(当初)	平成18年3月2日
コミセン 指定管理開始日	平成23年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市建部日吉町31番地(建部コミュニティセンター内) 〈電話番号・FAX〉 0748-22-0303 〈IP電話〉 050-5801-0303 〈e-mail〉 tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	福井 好信	会員数	個人会員61名、団体会員10団体
会議・組織	評議委員会 18名(自治会長) 運営委員会 15名(地域団体代表者、まち協役員) 役員会 16名(会長、副会長x3、事務局長、会計、部会長x4、 コミセン館長代理、地域担当職員x6) 専門部会 4部会(環境美化、歴史文化、健康福祉、広報企画) 会員の範囲(建部地区に居住する全住民で構成) ・個人会員(本会の趣旨に賛同し、参加する個人)61名 ・団体会員(自治会連合会及び本会の趣旨に賛同する地域団体)10団体		
予算等の概要	〈一般会計〉 1,926千円(交付金1,226千円、自治会連合会助成金100千円、 繰越金443千円、その他157千円) 〈指定管理会計〉 18,130千円		
情報紙の発行	地域の身近な情報誌として「建部だより」を毎月1回発行(年12回) A4版4頁(カラー) 発行部数1,000部/回 まち協の広報誌「建部キラリ」を年4回発行 A4版4頁(カラー) 発行部数1,300部/回		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	1 まち協役員会および推進体制 ① 役員会は11名で構成します。 役員会には地域担当職員6名が交代で参加します。 ② 役員会の活性化 役員会を毎月第2火曜日に開催します。議論を活性化させ、効率良く行う ため、会議資料を充実させています。 2 自治連、各地域団体との連携 ① 自治会連合会の会長がまち協の副会長に就任することで、自治会連合会と の連携を深めています。 ② まち協の企画・運営および総会提出議案について意見を求めるため、全自 治会長で構成する評議委員会を必要に応じ開催します。 ③ 10の地域団体長とまち協役員が、まち協の運営に関し定期的に協議しま す。 3 定期総会を5月21日に集会形式で開催しました。 4 コミュニティセンターの指定管理の進捗状況 ① 指定管理の開始から14年目を迎え、地域住民の身近な施設として、 また地域の皆さんに気軽に利用していただくため、開かれた施設運営 を目指して取り組んでいます。 ② コミセン本館の雨水・排水処理対策工事を行いました。		

## まちづくり活動等の取り組み紹介

### 1 建部里まつりの開催

河辺いきものの森で里まつりを開催し、親子連れら多くの人で賑わいました。木のジャングルジム、ターザンロープ、シャボン玉遊びや体験コーナー、森でのランチやカフェを楽しみました。参加者約600名（6月2日）



建部里まつりシャボン玉遊び

### 2 環境美化事業への取り組み

- ①植栽箇所およびポケットパークの草刈作業を年2回実施しました。（6月8日、10月5日）
- ②愛知川左岸堤防のごみ拾いを実施しました。（12月1日）
- ③遊休畑を活用しさつまいもを植えました。（5月12日）  
秋にはさつまいも掘り体験会を行いました。（10月6日）



さつまいも掘り体験会

### 3 歴史文化事業への取り組み

- ①昨年行った聖徳太子薨去1400年記念参画事業、瓦屋寺プロジェクト参道整備事業の事後整備活動を行いました。（6月15日 10月19日）
- ②歴史探訪として紫式部ゆかりの地、石山寺と宇治平等院を訪ねました。（11月16日）
- ③「建部の歴史」の講座を行いました。（2月15日）



健康体操講習会

### 4 健康福祉事業への取組み

- ①子ども見守り活動の一環として、毎月2回、4カ所で、まち協会による交通立番を行っています。（4月～2月）
- ②チャリティゴルフ大会を開催し、チャリティ募金を建部地区社会福祉協議会に寄附しました。（5月23日）
- ③サロンスタッフ対象に健康体操講習会を開催しました。（7月17日）
- ④建部ふるさとウオーク「箕作山トレイルコース」をハイキングしました。（9月28日）



建部ふるさとウオーク

### 5 広報活動への取り組み

- ① コミセン・まち協・各地域団体の広報誌として、「建部だより」を毎月発行しています。12回/年度
- ② 建部の良さをPRするため、新たな広報誌「建部キラリ」を発行しています。4回/年度

### 6 他のまちづくり協議会との連携を進める活動行いました。

湖東まちづくり協議会と共催で「キャンプ体験教室」4回  
五個荘まち協議会と共催で「はじめての親子お菓子教室」6回を開催しました。



建部町民祭

### 7 まちづくり活動の裾野を拡げるための取り組み

- ①「まちづくりのために何かをやりたい」と思っている個人やグループに対し、まちづくり協議会が人的および資金的支援を行う「まちづくり活動支援制度」を令和4年度から実施しています。本年度は「ふたばの会」履き楽しくズボンの製作を支援しました。

②わくわくこらぼ村へ参加しました。（スプラトゥーン大会）

③ 親子梨狩り・イチゴ狩りを実施しました。

### 8 地区内の建部幼稚園・北小学校・滋賀学園・八日市高校との連携を強化する活動を進めています。

### 9 サマーフェスタ（7月21日）、スポーツレクリエーション祭（10月13日）、町民祭（11月10日）を実行委員会形式で開催しました。

### 10 「建部まちづくり協議会・建部コミュニティセンター」公式LINEの登録者数拡大と活用を進めています。現在の登録者数は、約480名です。



わくわくこらぼ村(スプラトゥーン大会)

● 中野地区まちづくり協議会

(愛称) なかのよいまち

(テーマ、スローガン) 『みんなでつくる なかのよいまち』

【令和6年度】

設立日	平成18年12月9日	認定日 (当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市中野町781番地5 (中野コミュニティセンター内)          〈電話番号・FAX〉 0748-22-0154 〈IP 電話〉 050-5802-2311          〈e-mail〉 nakano-c@e-omi.ne.jp (中野コミュニティセンター)</p>		
代表者	会長 廣田 博文	会員数	地区内全住民
会議・組織	<p>○組織 まち協役員 23名 (会長、副会長、事務局長、幹事、会計、会計監事)          運営委員 約23~30名程度 (会長、副会長、事務局長、幹事、会計、自治会連合会3役、各種PJ代表、地域担当職員 等) ○まちづくり委員 約50名 (自治会選出、公募委員)          ○会議 (総会・運営委員会・円卓会議・各種プロジェクト)          ○まちあるきプロジェクト ○歴史探訪プロジェクト ○山と川保全推進プロジェクト          ○50年森整備事業プロジェクト ○広報委員会 ○地域福祉を進めるプロジェクト          ○命のバトン普及事業 ○婚活事業 ○地域交流型マルシェ (もろて~な市) ○西広場整備事業プロジェクト ○子どもの居場所づくり事業食堂 (子ども食堂「なかのごはん」「夜カフェ」) ○里山保育事業 ○近江鉄道駅舎装飾事業 (太郎坊宮前駅・長谷野駅) 等</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉 まちづくり総合交付金: 1,744千円 / その他: 809千円          〈特別会計〉 コミセン指定管理料: 15,379千円 / その他: 944千円</p>		
情報紙の発行	<p>中野地区まちづくり協議会広報誌 (なかのよいまち) 4A 版フルカラー4ページ          年4回 (6・9・12・3月) 発行、発行部数3,500部 / 回          〈主な内容〉 まち協事業、コミセン事業、関連団体事業、まち協総会報告、地域に身近でホットなニュース (新店舗の紹介・特産品の紹介・サークル紹介) 等</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連携、 まちづくり活動などで特に PRできること	<p>中野地区の総合的なまちづくりを目指して、まちづくり協議会の発足準備段階から続けてきた、毎月7日開催の「円卓会議」で語り合う場を大切にしています。本協議会のテーマである「みんなでつくるなかのよいまち」実現に向け、地域福祉の充実も目指し、地区社協と第2層協議体 (なかのよいまち推進会議) の運営や活動に力を注ぎ、地区自治会連合会やまちづくり委員、各種団体、福祉団体と連携した、「なかのよいまち大en会 (随時)」や「なかの福祉のまちづくり座談会 (随時)」を共催するなど、協働のまちづくりを展開しています。</p> <p>令和5年までの新型コロナウイルス感染症が落ち着いた中、整備を継続している50年森において、「第3回ありがとう50年森フェスタ」を開催し「ステージショー・ワークショップ・森の体験・マルシェコーナー」等に地区内外から多くの住民の来場を得ました。</p> <p>コミセン西広場では整備事業の一環として「紫陽花の捕植 (随時) や草刈り」を引き続き実施し、広場全体が地域住民の「憩いの場」となるよう、自治会連合会と共に管理を進めているところです。</p> <p>また、子どもの居場所づくりとして「なかのごはん (子ども食堂) ・夜カフェ」の定例開催、地域交流として「もろて~な市」の開催、「わくわくこらぼ村」の参画や「地区内福祉作業所 (きょうされん全国大会) ・太郎坊チャレンジへの寄付」等、地域福祉の向上や、活性化に向けて様々な活動を行ってきたところです。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

まちあるきプロジェクト 9月29(日)布引の森  
森の散歩・ホットサンド作り等を体験 15名参加



毎月開催  
子ども食堂「なかのごはん」  
なかのごはんの開催  
第54回目を突破!



↑顔みて しゃべって おすそわけ  
ますます盛況! 地域交流型マルシェ  
「もろてな市」  
もろて～な市の推進 (年間随時開催中)



50年森保全PRイベント 50年森整備事業  
「ヒゲじいの親子でワクワク自然と遊ぼう!!」  
(主催者: こどものノリシロ) 開催支援



FB 発信中

● 八日市地区まちづくり協議会

【令和6年度】

設立日	平成18年12月2日	認定日（当初）	平成18年12月5日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日 （条例による認定）	平成28年4月1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市八日市町 9-20 八日市コミュニティセンター内          〈TEL・FAX〉 0748-23-4120 〈IP 電話〉 050-8034-1141          〈e-mail〉 8comi920@e-omi.ne.jp 〈HP〉 www.8comi920.online</p>       		
代表者	代表 浦根 悦夫	会員数	全住民が対象
会議・組織	<p>執行役員会 年2回（代表、副代表2人、常任理事4人、事務局長、会計、コミセン館長、地域担当職員）          理事会 年2回（総自治会長6人、コミセン部会5人、プロジェクト部会11人、会員より3人、広報委員2人、地域担当職員）          広報委員会 年4回（編集委員長1人、委員11人）          プロジェクト：延命夢クラブ、箕作山麓里・山づくり、八日市冒険遊び場、花いっぱい、いきいきあったかサロン、子育て支援、八日市つながり、清水川湧遊、防災、歴史文化、まち鉄</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉 1,461千円          〈指定管理会計〉 18,405千円          〈特別会計〉 3,760千円</p>		
情報紙の発行	<p>八日市まち協だより A4版4ページ 年4回発行 発行部数2,400部/回          主な内容：まち協の活動報告、わがまち探訪、きらり～この人～、八日市ピンポイント、各プロジェクトの活動報告、あれやこれや</p>		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などでPRできること	<p>静岡県松崎町で開催されたふるさと絵屏風セミナーに、歴史文化プロジェクトから3名が参加しました。昨年1月にこれから絵屏風を作成しようとされる松崎町の方が、八日市コミセンに来られ、絵屏風作成の経緯や方法などについて意見交換をしました。そんな交流から、12月21日に松崎町のセミナーに招待されました。当日会場には高校生から高齢者まで約35名の方が参加されて、絵屏風の素晴らしさと作成の苦労話や完成後の活用など、熱心に聞いておられました。全国に「絵屏風親せき」が増えるよう願うばかりです。</p> <p>まち鉄プロジェクトでは「昔の八日市」を探しています。ご自宅のアルバムに眠っているスナップ写真や家族写真の背景に昔の八日市が写っていたら、コミセンで写真をスキャンし、「ふるさと絵屏風」のQRコードのデータとして活用させていただき取り組みを進めています。</p>		



## ● 南部地区まちづくり協議会

(愛称) ときめく南部(まち)

(テーマ、スローガン) 『誰もが笑顔で暮らし、活力あふれるまち』

【令和6年度】

設立日	平成17年9月19日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成23年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市沖野二丁目1番34号 南部コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-23-1573 〈IP電話〉050-8034-1573 〈e-mail〉 nanbumachikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 森 基一	会員数	73名
会議・組織	役員会5名(会長、副会長2名、事務局長、会計)(内副会長1名は自治連会長) 運営委員会14名(役員、専門部会長(兼務有)コミセン館長、地域担当職員) 評議委員会30名(役員、地区内自治会長14名、各種団体長10名) 拡大運営委員会 運営委員全員 会員の範囲 趣旨に賛同する個人、各自治会からの推薦者、各自治会(団体会員)		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金:1,642千円/その他:765千円 <特別会計>コミセン指定管理料:15,804千円/その他:1,490千円		
情報の発信	1 情報誌 まち協会員向けA4両面版広報紙「ホットニュース」毎月25日発行・南部地区内総合広報紙「南部だより」毎月発行に実施事業案内及び地区内外の情報提供 2 公式ライン・ホームページによる事業や部会活動等の情報発信		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	まちづくり協議会の活動(第3次まちづくりビジョン) 1 地域住民間の交流と連帯 地域住民間の親睦や交流を図り、コミュニティづくりを進める。 ○南部まつり(6月)の協賛、南部みんなの秋まつり(11月)の実施 ○地域住民福祉活動計画の一環「ほっとまちカフェ」の運営(毎月7日)みんなの居場所づくり「コンピス」の推進(毎週火曜日) ○地域学校協働本部事業との連携「みなみっこがくしゅう会の実施」 ○南部ふれあいフリーマーケットの開催(6月・10月・3月) 2 地域問題の解決と住み良い環境づくり 安心・安全なまちづくり、住みよい環境づくりを進める。 ○再資源可能物(リサイクル品)の回収 ○休耕田を活用し野菜栽培を通じて、地域の児童等とのふれあいを深める ○交通安全運動(交通安全立ち番 月2回)子ども達への挨拶運動 ○地域美化活動として毎月一回道路沿いのゴミ清掃 ○命のバトンの配布事業 ○「防災を考える会」の開催(7月、11月、2月) 3 コミュニティセンターの管理運営 コミュニティセンターを核としたまちづくりを進める。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 コミュニティセンターの運営管理

- ・コミュニティセンター内外環境の整備、維持管理  
駐車場及び芝生広場の整備
- ・各種コミセン事業の実施  
社会教育、高齢者講座  
(スマイルセミナー他)  
家庭教育：青少年教育  
(すこやかキッズ)

芝生広場の整備



陶芸教室



健康講座

2 少子高齢化時代に役立つ地域風土づくり

- ・南部未来会議への参加 (※南部地区住民福祉活動計画協賛)
- ・老若男女が集える場づくり  
「ほっとまちカフェ」の開設  
「子どもカフェあおぞら」と  
連携した活動(まちカフェ)
- ・命のバトン配布事業の推進

ほっとまちカフェ



3 住みよいまちづくりの推進

- ・資源ごみの分別収集を推進し環境意識の向上と、  
再資源化の協力を進める
- ・あびこ(挨拶・美化・交通安全)活動の継続展開
- ・「南部地区、防災を考える会」研修会の実施
- ・八日市南小学校芝生の維持管理活動
- ・子ども森の整備  
(まち協と有志による支援活動)



子ども森・南小  
の整備

4 男女・年齢を問わず皆が集い、学びや趣味を生かせる場づくり

- ・愛犬家による地域パトロール
- ・「ふれあい農園」(休耕田の活用)  
で野菜の収穫体験や子ども森で  
焼き芋体験(幼児園・南部こどもの家)
- ・「みなみっこがくしゅう会」の開催  
長期休業の間2日程度、ボラン  
ティアによる学習支援活動の実施
- ・粋生サロン、小物づくりを通じた生きがいづくり  
(文化祭での作品展示)

みなみっこ学習会



ふれあい農園



5 まちづくりビジョンの推進

「第3次まちづくり計画」  
まちづくりのビジョンの推進と  
展開を図る

- 1 出会いの場の創出
- 2 まち協の魅力の発信
- 3 南部地区のランドマーク
- 4 まちづくりプラットフォーム

避難所運営  
HUG 研修



南部ふれあい  
フリーマーケット



- ・研修会の実施

多文化子ども食堂(草津)視察・交流



コンピス



## ● 永源寺地区まちづくり協議会

(愛称) We Are The One “みんなでひとつ”

(テーマ、スローガン) 『里いっぱい **新**呼吸 笑顔のまち えいげんじ』

【令和6年度】

設立日	平成17年9月30日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成26年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市山上町 1316 番地 (永源寺コミュニティセンター内) 〈電話番号〉 0748-27-1060 〈IP 電話〉 050-5802-9336 〈FAX〉 0748-27-1974 〈e-mail〉 e-net6500@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 <a href="http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/">http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/</a>		
代表者	会長 福井 均	会員数	70 人
会議・組織	・運営委員会 (三役、監事、部会長、各種団体長、会長が指名した者) … 年間5回開催 ・三役会 (会長、副会長、事務局長) … 随時開催 ・三役部会長会 … 随時開催 ・専門部会 (6部会) … 随時開催		
予算等の概要	〈一般会計〉 まちづくり総合交付金: 2,986 千円 〈指定管理料〉 コミセン指定管理料: 34,222 千円 〈その他〉 3,714 千円		
情報紙発行	e-NET6500 年6回発行 A4/最大12頁 カラー (現在: No.119) (まちの話題、まちきょうだより、クローズアップ 他) e-NET6500 (情報版) 毎月発行 A4/4頁 白黒 (現在: No.238) (イベント等告知、くらしのカレンダー、学校・園だより、コミセンだより他) ホームページ 随時更新		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>「自らの地域は自ら考え自ら行動していく」を基本に、地区の伝統文化を再発見し継承していくと共に、環境への取り組みや地域活性化事業の実施等により、住みよいまちづくりを目指しています。</p> <p>今年度は、コロナ感染症以降疎遠になりつつある地域の子供たちから高齢者までの住民みんなが集える「場づくり」に取り組みました。</p> <p><b>○地域の良さを再確認し、継承していく取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千草街道を往く</li> <li>・大本山永源寺ライトアップ</li> <li>・きらり！永源寺再発見講座</li> </ul> <p><b>○環境にやさしいまちづくりへの取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ごみのリサイクル活動 (ペットボトルキャップ、アルミ缶プルトップの回収及び不用品譲渡会の実施)</li> <li>・大型金属資源回収 (東部、中部、西部の3会場で実施)</li> </ul> <p><b>○情報紙などを通じて地域連携を深め、地域間交流の推進を図る取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの夏休み</li> <li>・みんなのふるさと祭り</li> <li>・まちづくりフォーラム</li> </ul> <p>※地域固有の資源を活用して事業活動を行なうことにより、地域の良さを住民みんなで共有し、地域に対する誇りと愛着心の醸成につなげていこうと考えています。</p>		

**指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介**

※永源寺地区の5年後10年後に向けた地区内の課題を、自治会や各種団体と共有し、話し合い、住民のため地域のため活動出来るように「永源寺みらい会議」を継続開催しました。  
また、平成26年4月1日から永源寺コミュニティセンターを指定管理しており、コミュニティセンター講座の充実に向けた事業と連携してまちづくりに取り組んでいます。

**◎まちづくり協議会の活動紹介**

【4月27日 千草街道を往く】  
(文化情報部会)



【5月18日 総会】



【5月26日 ごみゼロ大作戦】  
(環境部会)



【11、12月 寄せ植え教室】  
(環境部会)



【7月27日 みんなの夏休み】(実行委員会)



【10月13日 介護施設訪問】  
(えがお部会)



【11月 14日～30日 大本山永源寺ライトアップ】(実行委員会)



**◎他団体と連携した活動紹介 (\*共催団体名)**

【9月22日 スポーツフェスタ】  
\*スポーツ協会



【10月6日 コミュニティ防災講座】  
\*コミュニティセンター



【10月26日、11月16日 大型金属資源回収】  
\*自治会連合会



【11月11日 まちづくり懇談会】  
\*自治会連合会



【11月9日、10日 みんなのふるさと祭り】  
\*コミュニティセンター



【11月28日 永源寺みらい会議】  
\*社会福祉協議会(地区内の19各種団体)  
《集いの場》 《地区内学校の除草活動》



6月16日 (安心安全部会)  
6月30日  
9月28日

**☆まちづくり協議会の通年活動紹介**  
《情報紙の発行》



《リサイクル活動》

※他にも、それぞれの部会にて研修会等を行なっています。

## ● 五個荘地区まちづくり協議会

(愛称) GO!まち協

(テーマ、スローガン) 心イキイキはつらつと みんなが愉しむまちづくり

【令和6年度】

設立日	平成18年3月18日	認定日(当初)	平成18年3月23日
コミセン 指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市五個荘小幡町 318 (五個荘コミュニティセンター内)</p> <p>〈電話番号〉 0748-48-7303                      〈IP 電話〉 050-5801-7303</p> <p>〈FAX〉 0748-48-6454                      〈e-mail〉 go-machikyo@e-omi.ne.jp</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">               ホームページ         </div> <div style="text-align: center;">               Facebook  </div> <div style="text-align: center;">               LINE  </div> </div>		
代表者	会長 小杉 勇	会員数	地区住民全員
会議・組織	<p>役員会 6人(会長、副会長、事務局長、館長)</p> <p>運営委員会 20人(役員、相談役、各事業部正副部長、有識者)</p> <p>事業部会 安心・安全部会9人、環境部会14人              歴史・文化部会11人、地域福祉部会16人、情報誌部会7人              自治会推薦まち協推進員49人              地域担当職員9人、地域イベント協力隊87人</p> <p>構成員 五個荘地区に在住、在勤する全ての人と地域の活動団体</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉まちづくり総合交付金：2,901千円／その他：3,099千円</p> <p>〈指定管理会計〉コミセン指定管理料：32,223千円／その他：4,077千円</p>		
情報紙の発行	<p>まちづくり情報誌「GO!まち協」 A4版8ページ 偶数月 6回発行              発行部数4千部／回</p> <p>〈主な内容〉特集、まちの話題、ひと・まち・団体の紹介、行事予定 他</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連携、 まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>令和6年度は、以下3点を重点課題とし、まちづくり協議会の基本方針としています。</p> <p>(1) 持続可能な組織の再構築と活性化              まちづくり協議会設立以来今日まで必要に応じ継続的に、運営委員やまちづくり推進委員の交代や新規拡充を図ってまいりました。              今年度は主に、まちづくり推進委員の新規登録者を大幅に増加拡充し、持続可能な組織の再構築を図り、一層の活性化を推進します。</p> <p>(2) 住民代表者、各種団体長との意見交換の恒常化              少子高齢化や高齢者の就業状況等を背景とした現状、自治会や各種団体の持続可能な運営のあり方や担い手の発掘はじめ、より多くの方々からご意見やご提案等、対話の場を広げ、今、最も大きな課題の解決に向けた取り組みを推進します。</p> <p>(3) 新たな観光資源の開発              五個荘地区の新たな魅力を活かしたまちづくりを推進するため、市内では当地区だけで見ることができると新幹線。中でも「観ると幸運が訪れる」とされるドクターイエローは「新たな魅力」と考えられます。              「花畑」と「新幹線」をジョイントし、全国に発信することで新たな観光客の誘致に向け、中・長期的課題としてイエロープロジェクトの立上げを推進します。</p> <p>【協働事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東近江トレイル実行委員会              里山保全活動の3団体、健康推進団体と協働し、エコツーリズム事業の充実やびわ湖東近江SEA TO SUMMITを支援します。              観光事業の促進・地元経済の活性化を目指します。</li> </ul>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

◆五個荘地区総合防災訓練

(共催：五個荘中学校・自治会連合会・他)



◆イエロープロジェクト開始

Dr.イエローと菜の花畑コラボレーション



◆五個荘ごみゼロウォーク

ごみ拾いをしながら  
郷土史研究会のガイドと中山道ウォーク



◆情報誌「GO!まち協」発行

偶数月 年6回発行



◆生ごみ減量化

ダンボールコンポスト講習会開催(年2回)



◆大型金属資源回収(年3回)

(延べ107人ボランティア参加・7.8t回収)



◆認知症・行方不明者

早期発見 保護訓練



◆まち協農園

小学生親子対象 さつまいも植付・収穫体験



◆「五個荘中央公園桜まつり」

てんびんの里わくわく広場同時開催  
桜並木に250張の提灯を灯し桜を楽しみました



◆歌声喫茶



◆東近江トレイル実行委員会  
「東近江トレイルシンポジウム」開催



◆コミュニティセンター事業

「みんなのひな祭り展」  
於：五個コミセンロビー



フラダンス教室



箕作山トレイルルートが  
「びわ湖東近江 SEA TO SUMMIT」ハイコースに決定



コミカフェ Gool 出店



mont-bell 辰野会長と  
制作した箕作山ジオラマ



コミセン講座

きんつば作り



よし笛作り



夏休み勉強会(小学生対象)

五個荘地区で採集された  
昆虫標本の観察



電子オルゴールづくりと  
ムラタセイサク君見学  
(村田製作所出前授業)



エコツーリズム トレイルツアー

春：草木の芽吹き 植物ツアー



秋：観音寺城巡り 歴史ツアー



## ● 愛東地区まちづくり協議会

(愛称) 愛の田園(まち)ネット

(テーマ) 人を愛し、ふるさとを愛し、みんなが元気で、楽しいまちづくりと若者の出番を創るまちづくり

【令和6年度】

設立日	平成17年5月21日	認定日(当初)	平成17年7月21日
コミセン 指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市下中野町431番地(愛東コミュニティーセンター内)          〈電話番号〉 0749-46-2270 〈IP電話〉 050-5802-8614          〈FAX〉 0749-46-2270 〈e-mail〉 machinet@e-omi.ne.jp          〈ホームページ〉 <a href="http://members.e-omi.ne.jp/machitet">http://members.e-omi.ne.jp/machitet</a></p>		
代表者	会長 吉岡 登	会員数	89人(団体・自治会含む)
会議・組織	<p>役員(会長・副会長・事務局長・監事・顧問)          運営委員会(役員・専門部会長・地域担当職員等)          評議員(自治会長) まちづくり委員(自治会)          専門部会          広報部・防災部・地域ふれあい部・花づくり部・文化活動部          福祉プロジェクト・イベントサポートプロジェクト          愛のまち交流プロジェクト・あいとう元気なまちづくりプロジェクト          映画のまちプロジェクト</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉まちづくり総合交付金:2,622千円          〈特別会計〉コミセン指定管理料:29,641千円          〈その他収入〉2,334千円</p>		
情報紙の発行	<p>元気なまちづくり情報誌「愛の田園(まち)ネット」          A4版カラー印刷8ページ 毎月発行 1,400部発行          主な内容          表紙・地域の話(自治会・団体等)・イベント案内・まち協部会報告          愛東支所だより・愛のまちクイズコーナー・コミセン行事(教室・講座等)          こんにちは あいとうとしょかんです・平和祈念館情報          コミセン花の歳時記・あいとう菜の花の会(俳句)・見~つけた          愛東診療所だより・編集あれこれ・広告 等</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>コミュニティセンターをまちづくりの活動拠点とし、教室や講座等を開催しました。          まちづくり協議会及び地区自治連、行政(支所)による「まちづくり三者合同会議」で、地区課題やまちづくり活動等について話し合いました。          それぞれの部会活動を共有するためや地区課題を話し合うため、月1回、運営委員会を開催しました。          愛の田園づくり計画の取組の一つとして、「愛東を知る・伝える・情報発信の強化」の5年後の目標「愛東地区独自の情報発信システムをつくる」を検討するための情報発信検討会を開催しました。</p>		

## 指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

### 1 コミュニティセンターの指定管理業務

次の「まちづくり三本柱」の運営方針で教室や催し物等を行いました。

- ① 「あいとうの個性をつくる」…愛東のよさの情報収集・情報発信に努める
- ② 「生きがいをもちエンジョイする」…色々な年代の人が活躍できる出番をつくる
- ③ 「コミュニティをつくる」…様々な人、施設、団体がつながる仕組みをつくる

### 2 まちづくり活動等

#### (1) 安心して暮らせるまちづくり

- ・防災部は、能登島支援活動、南学区のバール点検、防災・減災啓発活動、能登島地域づくり協議会視察受入、能登島支援大看板設置等の活動を行いました。
- ・福祉プロジェクトは、命のバトンの取組み、研修会、学生カフェFIKAの支援等を行いました。

#### (2) 地域住民間の交流の場づくり

- ・地域ふれあい部は、夏まつりや秋フェスタの二大イベント開催、まち協サント実施、イルミネーション設置を行いました。
- ・イベントサポートプロジェクトは、祭りやイベント等を盛上げるためにバザーを行いました。

#### (3) 個性あるまちづくり

- ・花づくり部は、「あいとう花街道」継続活動、ハイブリッドプランター等設置、自治会等と協働しての花作り活動を行いました。
- ・文化活動部は、yokko ライブ、ガベジ公演を行いました。
- ・愛のまち交流プロジェクトは、北海道愛別町子ども受入、アドベンチャー北海道、愛のまちバレンタインカード発送等を行いました。
- ・あいとう元気なまちづくりプロジェクトは、パンフェス、ナイトマルシェ、あまいもの市、お母ちゃんの火鉢カフェ等を行いました。
- ・映画のまちプロジェクトは、「映画のまち」に向けた活動を行いました。



愛の田園（まち）だより



あいとう秋フェスタ



お母ちゃんの火鉢カフェ

## ● 湖東地区まちづくり協議会

(愛称) 好きやねん湖東 あえるまち湖東

(テーマ、スローガン) いきいき ほのほの わくわく あったか湖東時間

【令和6年度】

設立日	平成17年7月14日	認定日(当初)	平成17年9月20日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市池庄町495番地 湖東コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0749-45-0950 〈IP電話〉 050-5802-3393 〈FAX〉 0749-45-2049 〈e-mail〉 suki-koto@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://www.sukisuki-koto.jp		
代表者	会長 小島 善雄	会員数	地区内全住民・勤務者が対象
会議・組織	総会、理事会、運営委員会、まちづくり推進員会議、部会・PJ会議 部会：福祉部会、広報部会、防災コミュニティ部会、みどり環境部会、湖東企画部会 プロジェクト：湖東歴史文化PJ、子育て支援PJ、福結びPJ、音楽を聴こうPJ、映画製作PJ、シェアサロンPJ		
予算等の概要	〈一般会計〉まちづくり総合交付金：3,877千円 〈特別会計〉コミセン指定管理料：33,936千円/ 〈その他収入〉750千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌「好きやねん湖東」毎月1回発行 A4版4面 発行部数2,700部/月 コミュニティセンターと共同編集 〈主な内容〉表紙には地域のトピック写真、まち協や各団体の活動紹介や行事予定、暮らしや地域の情報、コミセン関係記事など		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>◎ <b>新しいまちづくり計画がスタート</b>          2年近くかけて作った「第3次まちづくり計画 あえるまち湖東をめざして」が4月に発行。これまで以上に協働を重視した内容で、活気にあふれた地域をめざします。“あえるまち”とは何か？興味がある方はぜひ読んでみて！</p> <p style="text-align: right;">表紙もステキでしょ →</p>  <p>◎ <b>「いこいこ広場」ますます好調</b>          湖東地区内で活動する団体による協働の象徴でもある「いこいこ広場」。コロナ禍の中で船出した時に300人弱だった年間来場者が、5年目となる6年度は2,000人に！内容は盛沢山、湖東地区外の方も大歓迎！</p> <p>◎ <b>建部と協働で親子体験事業</b></p> <p>協働の枠組みは、さらに地区をも越えた。建部まち協との共催で4回に渡って「親子キャンプ」を開催。2つの地区の親子が交流を深めた。締めは肝試しで仲良く絶叫！忘れられない思い出になった……かな？          ←自分たちで作った食事はサイコー！</p> 		



コトナリエの次は

# ことぼんだ!

(ことう夏まつり)



2023年に20回を機に幕を下ろしたコトナリエ。  
湖東地区の夏を象徴する大イベントだったが、装いも新たに  
「ことぼん」として再スタート!

ステージもバザーも、これまで以上にパワーアップ! 恒例の  
大抽選会に加えて、盆踊りで大フィーバー! (下の写真を御覧  
ください)

おおいに盛り上がったところで、締めくくりは名物の花火  
打ち上げ。夜空をいろどる花火は、筆舌に尽くしがたい美し  
さ。拍手と歓声が交錯しました。

新たな一歩を踏み出した「ことぼん」を、どうぞよろしく  
お願いします。みんな来てね!



● 一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

(愛称) ホップ♪ステップ♪のとがわ

(テーマ、スローガン) 『住みよい 住みたい 住み続けたい 水車のまち 能登川』

【令和6年度】

設立日	平成19年3月10日	認定日(当初)	平成19年3月13日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市躰光寺町262番地 〈IP電話〉 050-5802-2793 〈FAX〉 0748-42-1556 〈e-mail〉 notomatikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://notomatikyo.com/		
代表者	代表理事(会長) 藤居正博	会員数	265名
会議・組織			
予算等の概要	一般会計	611万9千円	
	指定管理会計	7,516万6千円	
	予算総額	8,128万5千円	
情報紙の発行	■まちの情報紙「ホップ♪ステップ♪のとがわ」8,900部/回(全戸配布) A4版6ページ(カラー4、モノクロ2)・隔月(偶数月) ■会員情報紙「のとまち協NEWS」毎月1日発行(320部会員他配布)		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 在能登川小・中・高校と総合学習他、多方面な連携(その一部記載)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR能登川駅前を花で飾る「フラ輪プロジェクト」活動支援(小・中)</li> <li>・「防災」「歴史・地理」「まちづくり」の総合的学習授業に講師として参画(小)</li> <li>・「びわ湖ホール音楽アンサンブル」公演に招待(小)</li> <li>・Lighting Bell in NOTOGAWA イルミの飾り付けと模擬店運営に参画(高)</li> </ul> </li> <li>○ 夏休みこどもの居場所づくり事業に取り組む</li> <li>○ 地域医療発展を願う住民活動「能登川病院をよくする会」を支援</li> <li>○ 高齢者の居場所「レコード(ミニ)カフェ」活動を企画支援</li> <li>○ 自治会別の懇談(「まちカフェ」)を呼び掛け、課題に共に悩み考え解決へ</li> <li>○ 「栗見プロジェクト」(琵琶湖岸復活大作戦)で甦る琵琶湖岸実現へ7年目</li> <li>○ 廃食用油回収・段ボールコンポスト普及でサステナブルな環境活動実施</li> <li>○ 能登川地区文化協会文化公演会(「映画鑑賞&amp;講演」)や、東近江笑いの会の「各種落語会」に協賛、その他スポーツ協会等各種市民活動団体の事務局業務やその活動に支援及び参画</li> <li>○ 「元気のつどい」はじめ、健康長寿を目指した健康推進諸活動実施。婚活も。</li> <li>○ 防災活動は「行動計画書」の活用2年目となり、55自治会中48自治会で運用され、目標項目278件に上り、内218件が実施されました。(実施率78%) 水害避難計画では、概ね自宅2階への垂直避難が浸透。次年度は地震対策を。</li> </ul>		



びわ湖ホール声楽アンサンブル公演 能登川地区4小学校の6年生を招待。



左：栗見プロジェクト（琵琶湖岸復活大作戦!!）  
右：能登川病院をよくなる会（毎月4回の美化活動）



夏休み能登川こどもの居場所づくりモデル事業に初めて取り組む（20日間）  
朝一番の検温から（左）、三味線のでほどき（右）等多彩な経験を



SEA TO SUMMIT でのおもてなし  
能登川名物“水車うどん”提供

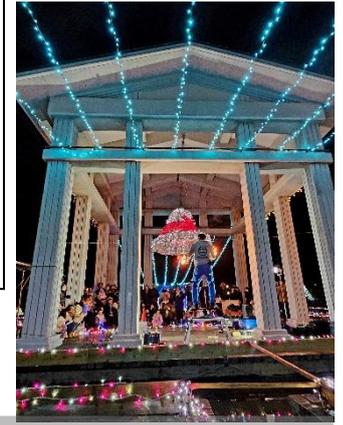


国スポリハーサル大会でのふるまい（近江米と近江牛入りカレー）

右上：能登川南小学校の総合学習（猪子山上から歴史の勉強（ふるさと散歩事業部）  
右下：能登川東小学校での防災教室（安全・安心事業部）…災害用トイレに興味津々

ホップステップのどがわ

第21回ライティングベル in NOTOGAWA



い出のあの曲を一緒に楽しみませんか？

Music

第13回レコードカフェ

音楽でつながる地域の楽しい場

今回のテーマ 昭和歌謡

2024 10.29 火

Start 13:30 Close 15:30

やわらぎホール

12:30-13:30  
民謡・唱歌・民謡による  
お楽しみ会  
入場「無料」で受け  
られます！

好評！！シニアの居場所  
ミニカフェも開催



## ● 蒲生地区まちづくり協議会

(テーマ、スローガン) 『このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり』

【令和6年度】

設立日	平成18年11月18日	認定日(当初)	平成18年11月22日
コミセン 指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市市子川原町 461-1 蒲生コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-55-3030 〈IP電話〉 050-8035-8437 〈e-mail〉 gamomachikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 <a href="http://www.gamoyume.org/">http://www.gamoyume.org/</a>		
代表者	会長 西村 純次	会員数	(R7.1.1 現在) 14,092 人
会議・組織	総会 111 (自治会代表、自治会まちづくり委員、地域活動団体代表) 役員会 5 (会長、副会長、事務局長、会計、(監事除く)) 企画会議 13 (役員、委員会委員長、専門部会部長) 運営委員会 35 (企画会議メンバー、運営委員、自治連三役) (特別委員会) ・広報企画委員会 6 ・ふるさと蒲生野川づくり委員会 8 (専門部会) ・ひだまり部会 8 ・ふれあい交流部会 14 ・エコランド部会 5 (他にモニター30) ・あかね部会 7 ・万葉ロマンの里づくり委員会 8 ・地域活性化部会 8 自治会まちづくり委員会 41 蒲生まちづくり会議(県議・市議、自治連、JA、商工会、行政、医療センター、各種団体、 コミセン、まち協 他)		
予算等の概要	〈一般会計〉 まちづくり総合交付金：4,603千円／その他：5,727千円 〈特別会計〉 コミセン指定管理料：42,871千円／その他：4,629千円		
情報紙の発行	蒲生まち協の広報紙「がまちョコ」 A4版4ページ 毎月20日5,200部発行		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	年間の事業は、まちづくり計画を軸に、自治会連合会とまち協が両輪となり関係団体、企業等と 連携しながら活動を展開している。その上で、 1 自治連との連携強化 自治連・まち協合同研修会を開催 自治会まちづくり委員の役割を明確化し、自治会との連携を強化 2 蒲生まちづくり会議の開催 蒲生地区の課題解決を図るため県議・市議、自治連、JA、商 工会行政、医療センター、各種団体、コミセン、まち協他が情報共有、意見交換会を開催 3 2030年蒲生の将来を目指し改定した「まちづくり計画書」の具現化を図るため、「(一社)が もう夢工房」と連携した取り組みをおこなっている(着地型観光、援農隊ほか) 4 ガリ版伝承によるまちづくりの推進 ・「ガリ版伝承によるまちづくりの会」の開催 ・ガリ版伝承館管理運営業務委託 5 若者視点で蒲生を楽しむアイデアの見える化や若者を増やすことを目的とし「こども・若者」 の事業を推進		

・指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

- 1 蒲生コミュニティセンターの管理運営を受託  
・ガリ版伝承館管理運営業務を受託

2 《本部事業》

- ・「自治会連合会とまち協合同研修会」の実施
- ・「自治会長・まちづくり委員合同研修会」の開催
- ・「蒲生まちづくり会議」の開催
- ・「蒲生地区まちづくり懇談会」の開催
- ・「蒲生地区まちづくりフォーラム」の開催
- ・「ガリ版伝承によるまちづくりの会」の開催
- ・「大型金属性資源回収事業」の実施 ・「蒲生地区新年互礼会」の開催
- ・「若者によるまちづくり」との連携
- ・「おやこでどろりんぴっく」の開催
- ・「ガリ版100の物語プロジェクト」の推進
- ・蒲生西小学校「蒲生の未来を提案しよう！」に参加
- ・地域担当職員、地域応援隊との連携
- ・蒲生医療センターへの協力支援
- ・視察の受け入れ（1団体3名）
- ・「（一社）がもう夢工房」に参画
- ・「蒲生野夢あかり」（実行委員会での開催に参加）
- ・蒲生地区のイベント・事業に参加協力  
（蒲生あかね夏祭り・蒲生いきいきあかねフェアの事務局担当）

《委員会活動》

(1) 広報企画委員会

- ・広報紙「がまチョコ」毎月発行
- ・ホームページの更新

(2) ふるさと蒲生野川づくり委員会

- ・川づくり啓発活動
- ・日野川および佐久良川モデル地区の「除草作業とゴミ拾い」作業の実施
- ・ふるさと美化「蒲生野の日」（第3土曜日）

《部会活動》

(1) ひだまり部会

- ・「防犯研修会」の実施
- ・安心、安全のまちづくり事業 ・命のバトン事業

(2) ふれあい交流部会

- ・まち協音頭、健康体操の啓発
- ・健康相談・食生活相談・血圧測定等の実施
- ・「健康づくり講座」、「親子の栄養講座」の開催
- ・健(検)診啓発・拠り所創造事業へ参画

(3) エコランド部会

- ・健康野菜いっぱい運動 ・コンポストの普及
- ・ゴーヤカーテンの設置 ・環境キャラバン隊
- ・市から生ゴミ減量化推進事業の受託

(4) あかね部会

- ・シニア世代の仲間づくり、生きがいづくり
- ・結婚活動支援「神様もそっと見守る縁結び@太郎坊宮」に参加
- ・子育て支援

(5) 万葉ロマンの里づくり部会

- ・広報紙がまチョコに「再発見 がもうの話」を連載
- ・歴史ウォークの開催（雨天中止）
- ・あいがもけんぶん塾（蒲生コミセンと協働で開催）に協力
- ・マックスクラブ（わくわくチャレンジ探検隊）への参加
- ・「蒲生野・万葉ロマンの会」に参画 ・「（一社）がもう夢工房」と連携

(6) 地域活性化部会

- ・特産新品種栽培管理（果樹植栽後の育成管理、収穫）
- ・コスモス栽培による見せる(魅せる)農業の実践
- ・蒲生スマートインター周辺活性化 ・「（一社）がもう夢工房」と連携



【合同研修会】



【大型金属性資源回収】



【新年互礼会】



【おやこでどろりんぴっく】



【あかね夏祭り】



【コンポスト講習】



【除草作業とゴミ拾い】



【ガリ版伝承によるまちづくりの会】



【親子の栄養講座】



【応援塾】

いつも、いまも、これからも。

PIONEER CITY

# 東近江イズム。 HIGASHIOMISM

地の利、人の和、自然の恵み。  
まちを包むうるおい、にぎわい、ここちよさ。  
時代を変えてきた歴史への誇りを胸に、  
新たな時代を拓く人がいる。  
いつも、いまも、これからも。あなたとともに。

パイオニアシティ・東近江市

## 【東近江市概要】

- 面積 388.37 km<sup>2</sup>
- 人口 111,422 人
- 世帯数 47,406 世帯

(令和6年10月1日現在)



【発行】令和7年3月

527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号

東近江市市民部まちづくり協働課 TEL 0748-24-5623 <http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>